

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曾地域での実践的なマナビ事業
事業主体 (連絡先)	木曾マナビネットワーク 長野県木曾郡木曾町福島5122
事業区分	若者のU I J ターン就業の促進
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,239,540円 (うち支援金: 991,000円)

事業内容

木曾地域にて、地域の新しいもの・ことをつくる実践プログラムや学び講座(単発)、オンラインイベントを開催。

- ・木曾地域の新しい「もの・こと」を学ぶ全5回の実践プログラムを実施(地域内外から5組が参加)
- ・オンライン参加もできる単発講座「さとくらしカレッジ木曾」の実施(3回)。
- ・「木曾地域でチャレンジする若者」と出会うイベントを現地・オンラインにて実施(2回)。外部ゲストもよび、木曾地域について外部の視点から講評いただく。

事業効果

- ①全5回の実践プログラム「里らぼ」を通して、5組の参加者(内2組は企業参加)それぞれが木曾地域の資源を活用したアイデアを創出した。最終発表では、計41名(現地15名/オンライン26名)の人が参加し、木曾地域から生まれた5つのアイデアの内容・背景を共有。
- ②上記の他に、オンラインからも参加できる学びの講座、イベントを開催。参加者は、59名(4回合計)。派生イベント(映画上映・まちあるき・トークイベント)には、40名が参加。

今後の取り組み

実践的プログラムで創出されたアイデアの実現に向けて、参加者と打ち合わせ等をすすめる。また地域内外の講師を招いた学びのイベントを継続的に実施すると同時に、実践的プログラムの第2期を実施。都市部での出張イベントを開催し、木曾地域で創出した新しいアイデアとともに、その背景にある木曾地域の資源についても知ってもらう機会をつくる。

- ※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



実践プログラム「里らぼ」の発表・講評会

【目標・狙い】

- ①実践的で継続的な学びの場の創出
- ②地域資源や自分たちの技術・知恵を見直しながら、木曾地域の新しい「もの・こと」を創出する
- ③オンライン実施などを活用し、地域外の人と木曾地域の活動者が出会う機会をつくる

■自己評価【A】

【理由】

・全5回の実践プログラムを4ヶ月間かけて実施。5組の参加者から、地域資源を活用した新しいアイデアが創出された。発表会では、地域内外の人に、それぞれのアイデアを紹介するとともに、ゲストからの講評をもらうことで、木曾地域の魅力を再確認することができた。

・オンラインを活用し、地域外の人と木曾地域の人が交流できる場をつくることができた。